

試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和7年度 第一薬科大学【看護学部】
一般選抜試験問題〔I期〕第1回

試験選択科目	生 物	数 学	国 語
--------	-----	-----	-----

受験番号										氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

令和7年1月29日（水） 10時00分～12時00分

[注意事項]

1. 受験票は机の前方に常に提示しておく。
2. 机の上には、鉛筆、消しゴム、時計のほか予め許可されているもの以外は置かない。
3. 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は必ず電源を切って、かばんの中にしまう。（アラーム等の音がでる設定は解除する。）
4. 開始の指示にしたがって、直ちに**問題冊子**および**解答用紙**を確認する。
生物は1～13ページ、**数学**は15～20ページ、**国語**は21～34ページである。
解答用紙は試験選択科目ごとに1枚、合計2枚である。
落丁等があれば、手をあげて監督者に知らせる。
5. はじめに問題冊子の**試験選択科目欄**に選択した科目を丸でかこみ、**受験番号**、**氏名**を記入する。**解答する科目は必ず受験票と同じものを選択する。**
6. つづいて解答用紙に**受験番号**、**氏名**、**試験科目**を記入し、受験番号欄をマークする。
7. 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがある。**ダブルマーク**（一列にマークを二つ塗る）されている場合は、採点の**対象外**になる。
8. 問題冊子の空白部分はメモや計算などに適宜使用してよいが、切り離してはいけない。
9. 途中退出は認めない。
10. **問題冊子および解答用紙は、いずれも持ち出してはならない。**

学 校 法 人 都 築 学 園
第 一 薬 科 大 学

生 物

設問は20題ある。

解答はそれぞれの設問の選択肢の中から1つ選び、解答用紙に問1～問20の該当する箇所を鉛筆でぬりつぶすこと。

問1，問2 ヒトの神経系に関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

ヒトの神経系は大きく分けて（ア）神経系と（イ）神経系に分類される。（ア）神経系は脳と（ウ）から構成され、（イ）神経系は体性神経系と（エ）神経系に分けられる。さらに、体性神経系は主に（オ）筋を支配する。

問1 文章中の空欄（ア）～（オ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

	（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
①	末しょう	中枢	延髄	感覚	随意
②	中枢	末しょう	脊髄	自律	随意
③	末しょう	中枢	延髄	運動	不随意
④	中枢	末しょう	脊髄	自律	不随意
⑤	中枢	末しょう	脊髄	感覚	随意

問2 次のa～fのうち、延髄の主なはたらきとして、正しいものの組合せはどれか。

a 体の平行情報の伝達 b 光受容の調整 c 情動の制御
d 心拍の調節 e 血糖濃度の調節 f 呼吸の調節

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ① (a, b) | ② (a, e) | ③ (a, f) |
| ④ (b, c) | ⑤ (b, d) | ⑥ (b, f) |
| ⑦ (c, e) | ⑧ (c, f) | ⑨ (d, e) |
| ⑩ (d, f) | | |

問3，問4 ヒトの眼のしくみに関する以下の文章を読み，設問に答えよ。

ヒトの眼では，光は（ ア ）を通過して屈折し，（ イ ）でさらに屈折されて焦点が合わされる。光は（ ウ ）に到達し，ここで像が形成される。（ ウ ）には（ エ ）細胞と（ オ ）細胞が存在し，（ エ ）細胞は弱い光を感知し，（ オ ）細胞は色を識別する能力を持つ。これらの視細胞が感知した情報は視神経を介して脳の視覚野に送られることで，視覚が成立する。

問3 文章中の空欄（ア）～（オ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

	（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
①	角膜	水晶体	網膜	錐体	桿体
②	水晶体	角膜	網膜	桿体	錐体
③	網膜	角膜	水晶体	錐体	桿体
④	角膜	水晶体	網膜	桿体	錐体
⑤	角膜	網膜	水晶体	錐体	桿体

問4 桿体細胞には（ カ ）と呼ばれる視物質があり，500 nmの波長の光を最もよく吸収する。（カ）に当てはまるものはどれか。

- ① オプシン
- ② ロドプシン
- ③ フィトクロム
- ④ メラノプシン
- ⑤ レチナール

問5 以下の文章中の空欄（ア）～（イ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

藻類が繁栄すると、藻類が行う光合成によって、多量の酸素が放出された。その結果、大気中に酸素が高濃度に蓄積して（ア）が生じ、約5億年前までには上空10～50 kmの成層圏に（ア）層が形成された。（ア）層は、太陽からの（イ）をさえぎるため、生物が陸上で生活できる環境が整い、陸上で生活する植物や動物が出現した。

	（ア）	（イ）
①	オゾン	赤外線
②	二酸化炭素	紫外線
③	オゾン	可視光線
④	二酸化炭素	赤外線
⑤	オゾン	紫外線
⑥	二酸化炭素	可視光線

問6 減数分裂の過程で、対合した二価染色体が紡錘体の赤道面に並ぶ時期はどれか。

- ① 第一分裂開始前
- ② 第一分裂前期
- ③ 第一分裂中期
- ④ 第二分裂前期
- ⑤ 第二分裂後期
- ⑥ 第二分裂終期

問7 酵母は酸素がある条件では呼吸とアルコール発酵の両方の反応を行う。ある酵母にグルコースを与えて培養したところ、1.60 gの酸素が消費され、5.28 gの二酸化炭素が発生した。アルコール発酵によって発生した二酸化炭素の量 (g) として、最も近い値はどれか。ただし、基質はグルコースのみであり、原子量はC=12, H=1, O=16とする。

- ① 0.1 g ② 0.2 g ③ 0.3 g ④ 0.5 g
 ⑤ 1.0 g ⑥ 2.0 g ⑦ 3.0 g ⑧ 5.0 g

問8 以下の文章中の空欄（ア）～（ウ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

植物の光合成は、光エネルギーを利用した炭酸同化である。葉緑体の（ア）の部分に存在するクロロフィルなどの光合成色素が光エネルギーを吸収すると、（イ）で水の分解が起こり、酸素が発生する。このとき生じた電子が（ウ）で受け渡されていく間に得られたエネルギーでATPが合成される。

	（ア）	（イ）	（ウ）
①	チラコイド	光化学系Ⅰ	カルビン回路
②	ストロマ	光化学系Ⅰ	電子伝達系
③	チラコイド	光化学系Ⅰ	解糖系
④	ストロマ	光化学系Ⅱ	カルビン回路
⑤	チラコイド	光化学系Ⅱ	電子伝達系
⑥	ストロマ	光化学系Ⅱ	解糖系

問9 真核生物の染色体に関する以下の文章中の空欄（ア）～（エ）に当てはまる数値の正しい組合せはどれか。

体細胞に8本の染色体が含まれる生物の場合、受精卵の染色体は（ア）本、精子に含まれる染色体は（イ）本、卵に含まれる染色体は（ウ）本である。この生物の遺伝情報が、染色体というまとまりのまま保存されているとしたら、子に与える精子や卵に含まれる遺伝情報の組合せは（エ）通りある。

	（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）
①	8	4	4	16
②	4	2	2	4
③	8	8	8	64
④	4	4	4	16
⑤	8	2	2	4
⑥	4	8	8	64

問10 タンパク質へ翻訳する際に用いられない物質の組合せはどれか。

- a** アミノ酸 **b** DNA ポリメラーゼ **c** rRNA (リボソーム RNA)
d mRNA (伝令 RNA) **e** RNA ポリメラーゼ **f** tRNA (転移 RNA)

- ① (a, b) ② (a, c) ③ (a, d)
 ④ (a, e) ⑤ (a, f) ⑥ (b, c)
 ⑦ (b, d) ⑧ (b, e) ⑨ (b, f)
 ⑩ (c, f)

問11 次の物質の性質の変化のうち、タンパク質の変性を含む組合せはどれか。

- a 溶かした寒天を冷やすと固まる。
- b 卵を熱湯に浸しておくとうで卵になる。
- c サバの切り身を酢に漬けておくと身が白くなったシメサバになる。
- d 水で溶いた片栗粉を温めるととろみがつく。
- e 紅茶にレモンを入れると色が変わる。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ① (a, b) | ② (a, c) | ③ (a, d) |
| ④ (a, e) | ⑤ (b, c) | ⑥ (b, d) |
| ⑦ (b, e) | ⑧ (c, d) | ⑨ (c, e) |
| ⑩ (d, e) | | |

問12 植物ホルモンに関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ① オーキシンは、食害を受けた植物の体内で合成され、食害が拡大するのを防ぐ。
- ② サイトカイニンを高濃度含む培地でカルスを培養すると、根の分化が促進される。
- ③ アブシシン酸は、種子の糊粉層におけるアミラーゼ合成を誘導して発芽を促進する。
- ④ エチレンは、離層の形成を抑制して落葉や落果を抑制する。
- ⑤ ジベレリンは、種なしぶどうの生産に利用される。

問13～問16 遺伝子に関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

遺伝子には、正確にコピーを行い、分裂した細胞に遺伝情報を受け継がせる複製と、生物の設計図としてはたらく発現の2つの大きな役割がある。

(a) 大腸菌などの原核細胞の遺伝子が発現する際には、細胞質基質に存在するDNAに (b) RNA (**ア**) が結合して、RNAへの転写が開始される。転写によって伸長するmRNAには、いくつもの (**イ**) が結合して、それぞれが翻訳を行い、ポリペプチド鎖を伸ばしていく。

一方、真核細胞では DNAが核内に存在するため、核内でRNAへの転写が行われる。転写されたRNAは (c) スプライシングを受け、(**ウ**) が取り除かれる。その後、形成されたmRNAは核膜孔を通して細胞質基質へ運ばれ、そこで (**イ**) が結合して、翻訳が開始される。

問13 (ア)～(ウ)に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

	(ア)	(イ)	(ウ)
①	リガーゼ	リボソーム	エキソン
②	リガーゼ	プライマー	イントロン
③	リガーゼ	リボソーム	イントロン
④	ヌクレアーゼ	プライマー	エキソン
⑤	ヌクレアーゼ	リボソーム	エキソン
⑥	ヌクレアーゼ	プライマー	イントロン
⑦	ポリメラーゼ	リボソーム	エキソン
⑧	ポリメラーゼ	プライマー	イントロン
⑨	ポリメラーゼ	リボソーム	イントロン

問14 下線部(a)について、原核細胞と真核細胞の複製に関する記述として正しい組合せはどれか。

- a** DNAは環状で、岡崎フラグメントが形成されることはない。
- b** DNAは環状で、複製はふつう1か所の複製起点から両方向へ進む。
- c** DNAは環状で短いため、リーディング鎖の伸長反応が3'末端から5'末端方向に進む。
- d** DNAが線状で端があるため、複製は両端から行われる。
- e** DNAが線状で、リーディング鎖には岡崎フラグメントが形成される。
- f** DNAが線状で長いため、1本のDNAに複製起点は複数か所ある。

	原核細胞	真核細胞
①	a	d
②	a	e
③	b	f
④	b	c
⑤	c	d
⑥	d	f
⑦	e	c
⑧	e	b
⑨	f	b
⑩	f	a

問15 下線部(b)のRNA(ア)が結合して、転写が開始される領域は何と呼ばれるか。

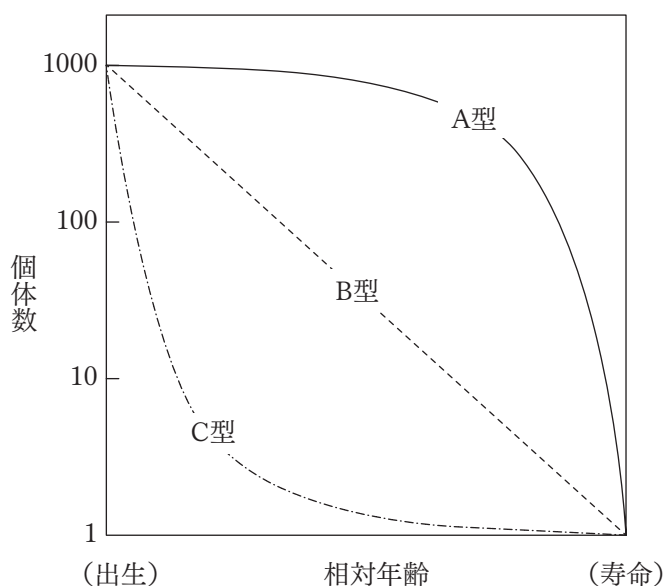
- ① 調節領域
- ② オペレーター
- ③ トリプレット
- ④ プロモーター
- ⑤ ベクター

問16 下線部(c)のスプライシングに関する記述のうち、正しいのはどれか。

- ① スプライシングでは、調節タンパク質が認識した(ウ)部分をRNA分解酵素が分解する。
- ② スプライシングにより(ウ)部分が取り除かれると、基本転写因子によりRNAはつなぎ合わされる。
- ③ 特定の部分を選択してつなげて、1つの遺伝子から数種のmRNAが作られることがある。
- ④ 細胞の種類によってはスプライシングが行われず、(ウ)部分が利用されるため、1つの遺伝子から数種のmRNAが作られることがある。

問17～問20 以下の文章を読み、設問に答えよ。

自然界において、生まれた卵や子などが成長するにつれて、どれだけ生き残れるかを示した表を生命表といい、この表から作成したグラフ（下図）を（ **ア** ）という。いろいろな動物について調べられた結果、この（ **ア** ）は、^(a)3つの型に大別されることが判明した。



問17 文中の空欄（**ア**）にあてはまる適切な語句はどれか。

- ① 生命曲線
- ② 生存曲線
- ③ 生死曲線
- ④ 延命曲線
- ⑤ 致死曲線

問18 下線部(a)について、図のA型、B型、C型は何か。正しい組合せを選べ。

	A型	B型	C型
①	長寿型	平均型	短命型
②	短命型	長寿型	晩死型
③	晩死型	中間型	短命型
④	早死型	中間型	晩死型
⑤	晩死型	平均型	早死型

問19 図のA型、B型、C型にあてはまる生物の適切な組合せはどれか。

	A型	B型	C型
①	ハマグリ	サル	ニホントカゲ
②	シジュウカラ	イワシ	クジラ
③	クジラ	ニホントカゲ	イワシ
④	サル	エビ	シジュウカラ
⑤	エビ	シジュウカラ	クジラ

問20 生態系において、ある特定の種が減少または消失すると、生態系全体が大きく変化することがある。このような種を何というか。

- ① キーストーン種
- ② 絶滅危惧種
- ③ 復元種
- ④ 適応種
- ⑤ 指標種

数 学

- (1) 解答は、答部分の の中の片仮名ア、イ、ウ、…に、マークシートの－、±、0、1、2、…9の記号や数字が、それぞれ一つずつ対応している。最も適当な記号や数字を鉛筆で塗りつぶすこと。

問題用紙の問題番号Ⅰ・Ⅱに対応した解答欄にマークすること。

- (2) 答が分数になる場合、必ず既約分数（それ以上約分できない形の分数）にすること。
- (3) 答に根号が現れる場合、根号の中は最も簡単な形にすること。
例えば $\sqrt{12}$ の場合、 $2\sqrt{3}$ のようにする。

Ⅰ 次の各問いに答えよ。

- (1) $(x-4)(x-2)(x+1)(x+3)$ を展開すると

$$x^4 - \boxed{\text{ア}} x^3 - \boxed{\text{イ ウ}} x^2 + \boxed{\text{エ オ}} x + 24 \text{ である。}$$

- (2) $6x^2 - 7ax + 2a^2 - 6x + 5a - 12$ を因数分解すると

$$(\boxed{\text{カ}} x - \boxed{\text{キ}} a - \boxed{\text{ク}})(\boxed{\text{ケ}} x - \boxed{\text{コ}} a + \boxed{\text{サ}}) \text{ である。}$$

- (3) 16 % の食塩水と 8 % の食塩水を混ぜて、9 % 以上 10 % 以下の食塩水を 500 g 作りたい。このとき、16 % の食塩水は シ ス . セ g 以上 ソ タ チ g 以下にすればよい。

- (4) 1 辺の長さが 4 の正四面体 ABCD に対して内接する球の中心を O とする。

このとき、 $AO = \sqrt{\boxed{\text{ツ}}}$ であり、内接球の体積は $\frac{\boxed{\text{テ}}\sqrt{\boxed{\text{ト}}}}{\boxed{\text{ナニ}}}\pi$ である。

- (5) $y = x^2 + bx + c$ のグラフを x 軸に関して対称移動し、 y 軸方向に 1 だけ平行移動して得られたグラフは、点 $(2, 5)$ を通過し、かつ直線 $y = 2x + 3$ と接していた。

このとき、 $c > 0$ の場合、 $b = \boxed{\text{ヌネ}} - \boxed{\text{ノ}}\sqrt{\boxed{\text{ハ}}}$ である。

- (6) 以下の表は、2 科目のテストに関する 5 人の生徒の得点を記録したものである。

学籍番号	1	2	3	4	5
英語 (点)	x	90	60	78	70
数学 (点)	66	88	46	70	64

このテストにおける数学の平均点は $\boxed{\text{ヒフ}}$ であり、英語の平均点が数学の平均点よりも 8.8 点高いとき、学籍番号 1 の英語の得点 x は $\boxed{\text{ヘホ}}$ であり、英語の得点の分散は $\boxed{\text{マミム}}$ である。ただし、解答には小数第 1 位を四捨五入したものをを用いること。

(7) 一直線を動く点Pがある。サイコロを6回投げて、以下のルールでPが移動する。

① 1, 2, 3が出たら, Pは右に2 m進む。

② 4, 5が出たら, Pは左に1 m進む。

③ 6が出たら, Pはその場に留まる。

サイコロを6回投げた後, 点Pが元の位置にいる確率は

$\frac{\boxed{\text{メ}} \boxed{\text{モ}} \boxed{\text{ヤ}} \boxed{\text{ユ}}}{\boxed{\text{ヨ}} \boxed{\text{ラ}} \boxed{\text{リ}} \boxed{\text{ル}} \boxed{\text{レ}}}$ である。

(8) 三角形ABCにおいて, 各頂点A, B, Cから内部の点Pを通り, 対辺へと伸ばした線分と対辺の交点をそれぞれ点D, E, Fとし, それぞれには以下の条件がある。

$$AF = 2 \times FB, \quad BD = 4 \times DC$$

三角形ABCの辺ACの長さが10のとき, 辺AEの長さは $\frac{\boxed{\text{ロ}} \boxed{\text{ワ}}}{\boxed{\text{ヲ}}}$ である。

Ⅱ [1] 箱の中に1文字ずつ書かれたカードが10枚ある。そのうち5枚にはA，3枚にはB，2枚にはCと書かれている。箱から1枚ずつ，3回カードを取り出す試行を考える。

このとき，以下の各問いに答えよ。

(1) カードを取り出すごとに箱に戻す場合，

1回目と3回目に取り出したカードの文字が一致する確率は $\frac{\boxed{\text{ア イ}}}{\boxed{\text{ウ エ}}}$ である。

(2) 取り出したカードを箱に戻さない場合，

1回目と3回目に取り出したカードの文字が一致する確率は $\frac{\boxed{\text{オ カ}}}{\boxed{\text{キ ク}}}$ である。

(3) 取り出したカードを箱に戻さない場合，

2回目に取り出したカードの文字がCであるとき，1回目と3回目に取り出したカードの文字が一致する条件つき確率は $\frac{\boxed{\text{ケ コ}}}{\boxed{\text{サ シ}}}$ である。

[2] 三角形ABCにおいて、 $AB = 5$, $BC = 6$, $CA = 7$ とする。このとき、以下の問いに答えよ。

$$(1) \cos \angle ABC = \frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}}, \sin \angle ABC = \frac{\boxed{\text{ソ}} \sqrt{\boxed{\text{タ}}}}{\boxed{\text{チ}}},$$

三角形ABCの面積は $\boxed{\text{ツ}} \sqrt{\boxed{\text{テ}}}$ である。

(2) 辺ABと辺ACの上に、それぞれ点DとEを $AD + AE = BD + CE$, $BD : CE = 1 : 3$

を満たすようにとる。このとき、 $AD = \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{ナ}}}$, $AE = \frac{\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}}$ であり、

四角形BCEDの面積は $\frac{\boxed{\text{ネ}} \sqrt{\boxed{\text{ノ}}}}{\boxed{\text{ハ}}}$ である。

国語

設問は29題ある。

解答はそれぞれの設問の選択肢の中から1つ選び、

解答用紙の問1～問29の該当する箇所を鉛筆でぬりつぶすこと。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

科学という言葉を、それらしい意味で最初につかったのは、やはり^(注)西周のようである。「やはり」とただし書きをつけたいくなるのは、他方で哲学という用語もかれにはじまるといわれ、かれが近代西欧哲学の紹介者だったからである。

a この科学と哲学という組み合わせは、ひとりの^X啓蒙家西周の知的な関心によつて、たまたま結びつけられたものにとどまるとみるべきではあるまい。たぶんそれなりに、もっと I な理由があつたと考えられる。むしろ日本の伝統文化に内在する^⑦コ有の事情こそが、この組み合わせを誘発したといつてもよい。

西欧の近代科学を日本人なりにとりあえずうけいれたとき、たとえば^Y実学とか、理学とかいう言葉で^Aそれを表現した。b それらの用語は、結局生きのびることができなかつた。それらの言葉は、日本人の II な思考の尺度で案出され、本来の science が意味するものを、十全にとらえきつていなかったからである。かえつて^①哲学の発想に関連して用意された^②科学という用語の方が定着した。

どうしてそうなるのか、その理由をたずねるためにも、ここで日本の哲学における西欧精神の受容、およびその日本的自立のなりゆきに、目をむけることが必要であらう。とくに日本の近代的な^③哲学の展開にとって、^④科学がどんな III 役割をはたすことになるのか、その点が問題である。

西周が「^Bいわゆる科学」という条件付きの表現で、はじめて科学という用語をつかったのは、一八七四（明治七）年に『明六雑誌』に連載した「知説」と題する論説の中であつた。c 、ここで科学という言葉はただ一度でてくるだけで、むしろかれは、「学」という言葉に「サイエンス」と仮名をふつて、これを科学にかわる用語として多用している。むろん、こうした用語法には、この当時の西周の考え方が照応していたわけで、^④ガイ念としての科学はまだ IV に姿をみせただけであつたといえる。

それにしても西がこのころから、なにを、どのように論じているのかは、ぜひ吟味して

みる必要がある。 d その前に、かれがもつと明確な意味をこめて、科学という用語をつかった例を、あらかじめみておくのが好都合であろう。 e 西周は、かれの哲学観を整備する経過の中で、科学という言葉を導入することになるからである。

「知説」を書いた三年後、明治十年の論説「学問は淵源を深くするにあるの論」の中で、西周は科学という言葉織りこんだつぎのような文章を書いている。

すべて学問に従事する以上は、なるだけ直接に当世の事にかかはらずとも、おのおのその科学の深遠なる理をきはめ、無用の事に類するも、理を講明するためには
④ テツ底の見解を要し、特別の衆理をあつめて一貫の元理に帰するごとく……左右その源に逢ふの地にいたるべきなり。

ここで西周は、⑤ 科学とはなにかを説明したのである。しかしその説明のために、ほかならぬ⑥ 科学をひきあいにださざるをえなかった。「おのおのその科学」とかれがいうとき、当時よくいわれた「百科の学術」つまり専門分化した各分科の学という意味での、科学なる言葉の来歴をなおとどめている。そうであれ、いまかれは、たんに専門的に細分化された知識だけを問題にしているのではない。科学の深遠なる理をきわめることが、かれの関心の⑦ シヨウ点となっている。科学は、個別的な知識の集まりにとどまらず、それらをささえる原理にまでさかのぼって、V に把握されるのでなければならない。「特別の衆理をあつめて一貫の元理に帰するごとく」とかれはいい、少なくとも科学に対する哲学的な理解を示唆していることはあきらかである。 ①

しかしこの文章で注意をひくのは、西周が説くつもり哲学と、その題材としてとりあげている科学と、それらの区別がいかにも曖昧なことである。科学の深遠の理をきわめ、一貫の元理に帰するとして、それは本来科学にそなわる原理的な理論体系性を強調しているのか、そうではなく、学一般の原論として哲学の原理的思考を示唆しているのか、そのどちらともとれる漠然とした論法がとられている。 ②

日本の伝統文化の中では、科学が自生しえなかったように、それと一をなす哲学もまた育たなかった。この歴史的条件にあつて、西欧の近代哲学を説明するには、多かれ少なかれ近代科学の哲学的構造を論ずることが避けられない。西欧の哲学とはなにかを知るには、むしろ近代科学の精神構造を一般論として形式的に把握することが、いちばん近道であつたともいえる。 ③

西周が、科学と哲学の間をそれとなくゆきかうような論じ方をしたのも、いわば必然的ななりゆきであつた。かれはそうにして近代哲学の紹介を試みたわけだが、それがかえって近代科学の哲学的な精神構造を説明することになっていた。日本においては、

科学の学問的方法や理論的認識の本性が、近代科学の受容とともに、もともと科学に内在するものとして理解されたのではなかった。もっぱら役に立つ専門知識を学びとることをめざして、科学が実学・理学として受容されたとき、実は科学の方法論や認識構造までを根源的に把握しうる素地やゆとりはもたなかったのである。その欠を補う意味で、期せずして重要な役割をはたしたのが、近代哲学導入のまさに日本的ななりゆきであった。

④

西周の「知説」で論じられたのは、西欧の学問的方法であり、その認識論的な特質である。かれはここで、西欧の学術がとくにすぐれている理由は、それが「結構組織の知」をそなえているからだという。

⑤

(西欧の)学術の盛なりとする者は一学一術の其の精微を悉し蘊奥を極むるを謂ふに非ず、衆学諸術相結構組織して集めて以て大成する者を謂ふなり。

これでわかるように、西が着目しているのは、

二

三

の方である。

(注) にしあまね 哲学者 啓蒙思想家 石見 津和野の人

『日本の科学思想』辻哲夫

問 1 ～ 問 4 傍線部 ア ～ エ に相当する漢字を含むものを、次の各群の傍線部 ① ～ ④ のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

問 1 ア コ 有

- ① 絵のコ展を開く
- ② 武力をコ示する
- ③ コ国の土を踏む
- ④ コ定観念にとらわれる

問 2 ① ガイ 念

- ① 感ガイ無量の思い
- ② ガイ博な知識を持つ
- ③ 応募作品のガイ評
- ④ ガイ悪を及ぼす

問 3

㉔ テッ底

- ① テッ夜で勉強する
- ② 民主主義のテッ則
- ③ 放置自転車のテッ去
- ④ 山のテッ辺を目指す

問 4

㉕ ショウ点

- ① 体力をショウ耗する
- ② ショウ慮に駆られる
- ③ 文献をショウ猟する
- ④ 博覧会をショウ致する

問 5

空欄 a ㉖ e のうち四つには「しかし」が入っていたが、一つだけ「しかし」が入っていなかったものがある。それを、次の①㉗⑤のうちから、一つ選びなさい。

- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d
- ⑤ e

問 6

傍線部 X「啓蒙家」と Y「実学」に最も関係の深い人物を、次の①㉘⑤のうちから、一人選びなさい。

(天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず) という語で有名な人です。

- ① 大隈重信
- ② 渋沢栄一
- ③ 夏目漱石
- ④ 森鷗外
- ⑤ 福沢諭吉

問7～問11 空欄 ～ に入れる語として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

問7 問8 問9 問10 問11

- ① 思想的
- ② 根源的
- ③ 萌芽的
- ④ 必然的
- ⑤ 伝統的

問12 傍線部A「それ」の指示する内容として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

- ① 西欧
- ② 近代科学
- ③ 実学
- ④ 理学
- ⑤ 科学と哲学

問13 本文中「科学」と「哲学」が対比的に述べられているが、傍線部①～⑥のうち故意に（わざと）逆の語に書き換えられているものが一つある。それを選びなさい。

問14 傍線部B「いわゆる」は原文では漢字で表記されていました。その漢字として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

- ① 言由
- ② 就中
- ③ 所以
- ④ 杜撰
- ⑤ 所謂

問15 次の文を本文の本来あった箇所に戻す場合、最も適切な箇所を、本文中の
① ⑤ のうちから一つ選びなさい。

ここには、西欧の近代哲学を日本人が受容し、消化してゆく上で、いかにも避け難い紛糾の様相がみられる。

問16 空欄 一 に入れる四字熟語として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

- ① 二律背反
- ② 三位一体
- ③ 一長一短
- ④ 表裏一体
- ⑤ 自家撞着

問17、問18 空欄 二 と 三 に入れる語句として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

問17 二 問18 三

- ① 専門学的知識の精緻さ
- ② 個別的な知識の集まり
- ③ 浅薄な知識の曖昧さ
- ④ 伝統文化一般の原論
- ⑤ 総合的な理論構成

問19 本文の内容（筆者の主張）に最も合うものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 科学と哲学という組み合わせは、一人、西周の知的な関心によって結びつけられた。
- ② 日本の伝統文化の中では科学は自生しえなかったが、哲学は自生しえた。
- ③ 日本の伝統文化の中では哲学は自生しえなかったが、科学は自生しえた。
- ④ 実学や理学という訳語では、西欧の近代科学を十全にはとらえきつていなかった。
- ⑤ 科学は個別的な知識の集まりに過ぎず、哲学的な原理とは無関係な学問である。

二 次 の 文 章 を 読 ん で 、 後 の 問 い に 答 え な さ い 。

二年ばかり前の話だ。

「お笑いとは人類を救うか？」

こんな見出しの新聞記事を目にした。国際科学振興財団「心と遺伝子研究会」が掲げた研究課題である。

その実験がおもしろい。二つのグループの一方には三〇分間、吉本のお笑いを楽しんでもらう。他方には、単調な足し算という「苦痛」を体験させる。その後、採血して、免疫やストレス耐性を高める遺伝子の活性を比較する。すると、お笑いグループのほうが、足し算グループより、格段に活性が高かった。楽しみは人間を元気にするらしい。

医学といえば「病氣治療」が連想される。いわば「マイナスをゼロにする」ことに主眼がある。今なお病氣治療は、医学の大切な役目だ。しかし、それに加えて「より楽しく快く暮らしたい」——そんな欲求が広がっている。医学が「ゼロをプラスにする」ことを射程におさめはじめたのだ。

そこで、ころつと話が変わるが、猛烈に腹が減っているとする。そんなとき、一個のおまんぼは、涙が出るほどありがたい。二個目もおいしいだろう。しかし、三個目、四個目、さらに五個目ぐらいになると、食べあきはしないか。

「もういい。目先を変えて、喉を潤す、おいしい飲み物が欲しい」

そう思いはじめるにちがいない。

こうした状態に似て、われわれ日本人は今「豊かさ」に A しはじめていないか。

むしろ、必ずしも生活は楽でない。年金はじめ、将来の不安も多い。毎日の暮らしは、ストレスと多忙に満ちている。

しかし、世界的に見ると、日本は豊かだ。要不要を問わず、モノが溢れている。ならば、ここらで「一層の豊かさ」の追求をやめて「質の違い」、すなわち「楽しみ」を求めてみてはどうか。「マイナス→ゼロ」から、少し角度を変えて「ゼロ→プラス」をめざすのだ。

1

I、どんな「楽しみ」がありうるか。

旅や観光、スポーツ、料理、酒などの嗜好品、風呂、芸術・芸能、テレビやラジオ、アクション、セックス、そして眠りなど、身近な楽しみには^①枚挙のいとまがない。あとは、実行への意欲と工夫次第であらう。

II、ここに挙げた楽しみは、多様な遊びに由来する。と述べたところで振り返ってみる。すると、人類の文明史は「すべてを遊びに変える」方向に進んできたことが分かる。

III 原始社会、人々は周囲の自然から手に入れることのできる獣や魚、木の实や草の根に糧を求めた。そこでの狩猟と採集は、生きるための営みにほかならない。ただ、それらは遊びと明確に区別できるような性質のものではなかったはずだ。

IV、約一万年前に農耕文明の時代が到来する。そこでは、一定の場所への定着と勤勉な労働が強いられるようになった。その瞬間、居住地を離れる旅、狩りや魚釣り、木の实や草の根集めが遊びに変わる。これらは、現代も重要な遊びであり続けている。

V また長大な時間が流れた。そして二、三〇〇年前、工業文明の時代が始まる。そこでは「農耕のまねごと」としての「園芸」が遊びになった。そして今日、コンピュータに象徴される情報文明の時代が本格化しつつある。ここでは「工業のまねごと」としての「物づくり」が遊びになる。のみならず、コンピュータゲームなど、情報処理までもが楽しみの対象になった。

それは、一言でいうと、こういうことだ。すなわち、

——新しい文明の到来は、その直前の社会を支えた産業の営みを遊びに変えてしまう。そして、情報文明の時代には、そこでの仕事そのものにも楽しみの要素が加わる。

「遊び」については、ロジェ・カイヨワが『遊びと人間』を著している。この書物は、あらゆる「遊び」を四つに類型化した。それらを列挙すると、つぎのようになる。

- ① アゴン（競争）の遊び……実力を競うスポーツや碁・将棋など
 - ② アレア（運）の遊び……運の善し悪しを競う賭博
 - ③ ミミクリ（模擬）……演劇・映画など
 - ④ イリンクス（^②眩暈）の遊び……子供のぐるぐるまわり、ジェットコースターなど
- それはそのまま、^X 先の文明発展の四つの段階に対応する。

原始社会の狩猟と採集は、獲物に出会う「運」に左右されたにちがいない。それは「アレアの仕事」だともいえる。これに対して、農耕文明の社会では「模擬（ミミクリ）」が卓越する。農民たちの間では、隣人の成功が、しばしば「ものまね」の対象になる。

工業文明の社会はどうか。二〇世紀に激しく戦われた「技術革新」という名の「競争」それ自体が、この問への答だといえよう。同じ時代に、オリンピックに象徴されるスポーツという「競争」が、広く遊ばれたのは、けして偶然ではない。それは、この時代の文明を比喩的に表象したのだ。

そして、情報文明が隆盛をきわめる今日、時間と空間を超越する音と映像のバーチャル世界が、人々を「眩暈」に誘う。スポーツでの勝利、宝くじの当選、歌や踊りに酔いしれた果てにも「眩暈」に似た喜びがある。

文明発展の諸段階は、遊びによって特徴づけられる。同時に、その発展に伴って、人間の営みはすべて、遊びに変化してきたのだ。

とはいえ「遊び」よりは「仕事」が大事だ。それが、大方の理解であろう。果たして、そうか。

やや唐突ながら、ここで連想が「嗜好品」に飛ぶ。嗜好品とは「栄養摂取を目的とせず、香味や刺激を得るための飲食物」（『広辞苑』）である。一般に、酒、煙草、コーヒー、茶・紅茶などが、その典型だとされる。

これらは、栄養やエネルギー源として期待されない。通常の薬でもない。いや、現代社会では、しばしば「毒になる」ともいわれる。しかし「ないと寂しい」。それに、好き

な人は「心に良い効果をもたらされる」という。

「嗜好品」という日本語は、明治のはじめに作られた。Bが「藤棚」という短編のなかで、初めて用いたのだ。いわく、

「楽は勿論の事、人生に必要な嗜好品に毒になることのある物は幾らもある。世間の恐怖はどうかするとその毒になることのある物を、根本から無くしてしまはうとして、必要な物までを遠ざけようとするやうになる。要求が過大になる。出来ない相談になる」

どうやら嗜好品は、当時の「近代化」に伴って強まる「緊張」を緩める役割を期待されて普及したのであるらしい。

とっていると、ある人が興味深い謎解きをしてくれた。「『嗜』という文字は『老』人の『口』に『旨』い書くんですね」

ここでの「老」は、単なる「高齢」とはちがう。むしろ「成熟」の意味だろう。つまり「大人が、慎みをもつて慈しみ『嗜む』——豊かさの果ての遊びと楽しみが、その姿を^③彷彿させているといえないか。

四

それだけではない。振り返ると嗜好品は、しばしば歴史を動かすきっかけになってきた。

たとえば、マケドニアから出て、巨大な帝国を築いたアレキサンドロス大王である。彼が遠大な東方遠征を試みたのは、乳香や没薬といった香料が欲しかったからだとされる。

時代が下って一五世紀、コロンブスがアメリカ大陸に到達する。彼を駆り立てたのも、コシヨウやナツメグなどの香辛料であった。それが一六世紀の大航海時代の端緒となる。

続いて一七世紀、ロンドンにコーヒーハウスが開業する。それは海上保険、新聞、株式会社など、近代資本制を支える諸制度の^④摇篮となった。アメリカの独立戦争も、宗主国イギリスの紅茶にかけた莫大な関税への怒りに端を発している。

日本でも一六世紀、早期資本制経済が芽生えた。その背景には、茶の湯が、信長や秀吉などの武人と千利休に代表される商人を出会わせたという事実がある。

このように、生存の必需品とはいいがたい嗜好品が歴史において果たす役割は、きわめて大きい。それは人と人との出会い、そこでのやりとりを媒介する妙薬ともなった。

そこで現代日本である。高齢化の進む時代には、人と人の相互ケアが重要な役割を果たす。そんな相互ケアを、さまざまな嗜好品が媒介してくれないか。

それは、多忙でストレスに満ちた社会の、一服の清涼剤ともなるはずだ。

五

もちろん、楽しみは嗜好品に限らない。冒頭近くで触れたように、旅や観光、スポーツ、料理、風呂、芸術・芸能、テレビやラジオ、ファッション、セックス、そして眠りなど、身近な楽しみには枚挙のいとまがなかった。

その半ばは、心身の快さや喜びに由来している。しかし、残りの半ばは、人それぞれの経験を、外に向けて表現する「遊び」だともいえる。庭作り、日曜大工、さらにカラオケ、写真、絵画、陶芸、俳句や短歌、旅日記、自分史などにイメージを広げていくと、そのことが一層よく分かる。

どうやら人は、みずからの体験を、みずからの心身というフィルターを通して、なにがしかのメディアに表現する行為それ自体を、遊びとして楽しむようにできているらしい。そんな遊びに伴う楽しみの⑤沃野を耕す——ここに、あり余る物量の豊かさへの食傷を超えるきっかけが隠されているような気がする。

なお、蛇足ながら、嗜好品が「歴史を動かす」きっかけとなったのも、「気分を変える」という役割を通して「人の出会い」と「表現の遊び」を励ましたからであった。

『學鑑 夏号』『楽しみの文明学・序説』 高田 公理^{たけだこうり}

問 20 傍線部①～⑤の語の読みとして間違っているものを、一つ選びなさい。

① 枚^{まい}拳^{けん}

② 眩^{げん}暈^{わく}

③ 彷彿^{ほうふ}

④ 揺籃^{ようらん}

⑤ 沃野^{よくや}

問21～問25 空欄 ～ にはそれぞれ、その後の文の内容を端的に表す小
 題（小見出し）が入っていた。最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つずつ
 選びなさい。

問21 問22 問23 問24 問25

- ① 「マイナス→ゼロ」と「ゼロ→プラス」
- ② 「表現の遊び」を楽しむ時代に
- ③ 嗜好品は、歴史を動かすきっかけになる
- ④ 文明の発展は、すべてを遊びに変える
- ⑤ 文明の発展段階を「遊び」で読み解く
- ⑥ 嗜好品は「老」人の「口」に「旨い」

問26 空欄 に入れるのに最も適切な語を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 満足 ② 中毒 ③ 食傷 ④ 嗜好 ⑤ 潤沢

問27 空欄 ～ に入れるのに最も適切な語の組み合わせを、次の①～⑤
 のうちから、一つ選びなさい。

- ① I さて II では III まず IV ところが V それから
- ② I まず II それから III では IV さて V ところが
- ③ I ところが II まず III それから IV では V さて
- ④ I では II さて III まず IV ところが V それから
- ⑤ I それから II まず III ところが IV さて V では

問 28 傍線部 A の「四つの段階」として挙げられていないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 工業文明の時代
- ② 情報文明の時代
- ③ 大航海時代
- ④ 農耕文明の時代
- ⑤ 原始社会

問 29 空欄 B に入れるのに最も適切な明治の文豪を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。(高校の国語の教科書には『舞姫』『高瀬舟』などがよく載っています)

- ① 島崎藤村
- ② 森鷗外
- ③ 夏目漱石
- ④ 志賀直哉
- ⑤ 芥川龍之介

